

今月の図書館 2020. 1

宮前だより

今月の特集

一般

「惹かれるブックデザイン」

YA (ヤングアダルト)

「がんばれ受験生!!」

～宮前図書館は受験生を応援しています～

古典展示

「戦のない世へ」

宮前だより 2020年1月号

発行 杉並区立宮前図書館

〒168-0081

杉並区宮前5-5-27

03-3333-5166

ツイッターアカウント: @MiyamaeLibrary



特別展示

科学道 ～「知りたい!」が未来をつくる～

1月5日(日)～2月5日(水) 中2階展示コーナー

「科学道」とは、理化学研究所(理研)と編集工学研究所が、書籍を通じて科学者の生き方・考え方や、科学の面白さ・素晴らしさを届けるプロジェクトです。未知に挑戦し続ける科学者たちのアタマとココロを覗いてみたら、生きるヒントに溢れています! 大人が読んでも楽しめるライナップを取り揃えて展示しますので、ぜひご覧ください。

『世界を変えた50人の女性科学者たち』
レイチェル・イグノトフスキー / 著
創元社 ★402/4



古典展示

「戦(いくさ)のない世へ —戦国群雄の宿望と野望—

11年にも及んだ応仁の乱により室町幕府の支配力は弱まり、実力さえあれば一国一城の主になれる下剋上時代が到来する。動乱の世を生き抜いた武将たちに迫る。

『明智光秀と琵琶湖』
大沼芳幸 / 著 海青社 2817

光秀は近江で何を考えたのか?
逆賊の汚名を着せられた知将の実像に迫る。



suginami☆members～杉並ゆかりの人々～

杉並区にゆかりのある方々にお話を聞くコラムです(時々、載ります)。
「杉並の好きなお店」「おすすめスポット」など「杉並 LOVE♡」のポイントに加え、アイデアの源泉、今興味があることなど、表現者たちの秘密にも迫ります!

第14回 今野書店 今野聖奈子さん(右) 水越麻由子さん

西荻窪駅北口からすぐ、いつも地元の人で賑わう今野書店。人気の本はもちろん、杉並ゆかりの本、地元の作家さんのサイン本も数多く、有名人がふらっと立ち寄ることも。子供向けのおはなし会や一般向けのイベントも人気です。



Q. お店を始められたのはいつですか?

A(今野さん).1968年に東上野で創業して、西荻に移ってきたのは1973年です。当時は今より吉祥寺側に数分行ったところでしたが、8年前に駅近くに移動して、売り場も広くなりました。

Q. 今は地下にコミック売り場もありますよね。1階は文芸書、ガイド等、いろいろなコーナーがありますが、どのようにつくっているんですか?

A. スタッフは全部で22名いるんですが、11名が棚を担当してくれています。(水越さん) 私は文芸など人文分野を担当しています。

Q. 店内でイベントも開催されていますね。

A. お子さん向けのおはなし会は2カ月に1度ほど。面白いのが、大人のスタッフに交じて小学生もお話を読むんです。最初はスタッフの子どもが始めたんですが、お話を聞きに来た子の中からも、「私も読んでみたい!」という子が出てきて。いつか子供だけで企画して本を読んで参加者もすべて子ども、という会も企画したいねと言ってるんですよ。

Q 「シャーロックアトム」をテーマにした一般向けのイベントもありました。

A. お店の一角で開催するので、20名ぐらいのスペースなんですけど、お話する方と観客の距離が近くて、とてもアットホームな雰囲気になりますね。これからは、お店に来たら、「何かイベントやってるなあ」というぐらい開催していきたいと思ってます。

Q. 店内入って右手には「週刊ランキング」のコーナーがあったり、本にまつわる雑貨なども販売されてますね(12月はカラフルな「布製紙袋」の販売あり)。

A. おかげさまで、とても好評なんです。石川県でつくられた文豪にちなんだジャムを販売したことがあったんですが、「すごく美味しかった!」という声を多数いただきました。

Q. お好きな本や思い出の本はありますか?

A.(今野さん) 弟とよく読んだ『おさるのジョージ』。今も見ると子供の頃の思い出が蘇ってきます。(水越さん)『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』。著者のブレイディみかこさんが書店に立ち寄ってくださったんですが、ご本人もとても素敵な方でした。

次回のおはなし会は、2月の日曜に予定しているそうです。2週間ほど前に店内にポスターやチラシが出るので、予約がおすすめです。イベントのお問合せは、電話(Tel03-3395-4191)かHP(<http://www.konnoshoten.com/>)で。

☆ YAコーナー ☆

1月の特集

展示期間：1月5日(日)～2月5日(水)



今月の紹介本

🍀 今月のオススメ!!

『大学図鑑!2020』

*貸し出しはできません

オバタ カズユキ/監 ダイヤモンド社 ★376夕

学生たちのリアルな“声”が満載の、自分に合った大学選びのバイブル。校風は? 環境は? 就職状況は? 学部学科は? 全国有名大学83校をきれいごと一切なしで紹介する。「大学選び9つのポイント」等も収録。



🍀 新着本

『いのち短し、踊れよ男子』

安倍雄太郎/著 小学館 ★ア599

日舞教室に通うことになった非モテ大学生の駿介。師匠の息子である吉樹とソリが合わず衝突するが、彼の踊りからは目が離せなくてー。日本舞踊の名取が、厳しくも魅力的な芸事の世界を、熱くリアルに描いた長編小説。



宮前みやたくんの YA 日記⑥

～ 4 Flame Comic of Miyata-Kun ～

高校生の宮前みやたくんと仲間たちのゆる～い生活を4コマで!

今月は、お年玉を有効活用したいみやこちゃんです!



みんなの広場



もみじにね すべってころぶ いててて

うっちー

冬休み もうすぐくるよ 楽しみだ

矢野 新大(ジュニー)

四八五 急行列車の 面影は

今雄

みやまえくん

HAPPY BIRTHDAY

おめでとー!!

さき10

からだのね かんりたいへん けんこうだ
プレゼント なにをもらうの もりあがる

こうちゃん

みやまえが かじになっている たいへんだ。

まつした ゆりり



海荒るるストーブ列車にスルメ焼く
冬館調律つづく古ピアノ
湯上がりの指に袖子の香残りけり

千楓

暑い日は 蛇口ひねれば 温水器
寒い日は 家全体が 冷蔵庫

いつつね

お正月令和元年空振りに
我が御世も長生きしたなあ三元号
終活の結果見れずになる佛

小戻心儿

1月の特集コーナー

展示期間：1月5日(日)～2月5日(水)

「惹かれるブックデザイン」

印象的な装画や装丁の本を集めてみました。

『注文の多い注文書』

小川洋子 / 著 筑摩書房 才185

「たんぼぼ」(川端康成)、「バナナフィッシュにうってつけのひ」(サリンジャー)、「貧乏な叔母さんの話」(村上春樹)など5つの小説に登場する品物の探索を、小川洋子さんがクラフト・エヴィング商會に依頼して…。どんな品物が納品されたのか、それは読んでのお楽しみ!!



『僕が愛したMEMEたち』

いま必要なのは、
人にエネルギーを与える物語』

小島秀夫 / 著 メディアファクトリー 019コ

話題作「デス・ストランディング」の小島秀夫監督による書評集。僕に純粋な喜びとエネルギーを与えてくれたのは、MEME(文化的遺伝子)=物語だったー。

『うさぎおいしーフランス人』

村上かるた』

村上春樹 / 著
文藝春秋 914.7ムラ

お正月です。かるたです。絵本『がたんごとんがたんごとん』などでも知られる安西水丸さんのイラストです。著者である村上氏が自身で言うてしまうほど、すごくくだらない内容です。でも、名のある人たちが大真面目に作ったクスリと笑える本なのです。

みなさまの投稿をおまちしております。
投稿ポストは、館内入って左手テーブルの上、2階カウンター上にございます。
投稿された原文のまま掲載させていただきます。

宮前図書館 カレンダー

1月 January

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			休	休	休	休
5	6	7	8	9	10	11
☆			☺			
12	13	14	15	16	17	18
プラネタリウム ☆	☆		☺	休		あかちゃんタイム あかちゃん おはなしかい
19	20	21	22	23	24	25
☆			☺			
26	27	28	29	30	31	
☆			☺			

「☆」の日は、5時に閉館いたします。「☺」の日は、おはなしかいの日です。

おはなしかいは毎週水曜日、3時から1Fおはなしのへやで行います。

～2020年 新年のご挨拶～

職業柄ほぼ毎日、本と出会っています。

毎日接しているにも関わらず、図書館の中を歩いていると、読んでみたい本をたくさん見つけているのです。そんな時、ふと「読書の価値」って何だろう？と思ったりします。

昨今、読解力の低下が世間を騒がせています。

デジタルネイティブ世代に限らず、大人も自らに必要な情報が摂取しなくなり、「その周りのもの」まではなかなか手を延ばさなくなっています。

物事を考える本質的な力を養うためには、いくつもの経験を重ねることや、自らの想像力を膨らませていくことが大切です。しかし、その困難な道をたった一人で歩き続けることは大変難しいものです。検索からこぼれ落ちてしまった「その周りのもの」こそをすくい上げ、単なる知識ではない力を養ってくれるのが、先人の考えに触れること＝読書の力ではないでしょうか。

PCやスマートフォンで何でもすぐに検索し調べることができる時代になりましたが、そういう時代だからこそ、みなさんも「読書の価値」を考えてみませんか？

今年も宮前図書館を、どうぞよろしく願います。

杉並区立宮前図書館 館長 宇佐美 圭